

## 分野1「総合科目」: 基礎から応用に至る多様な知識を修得することにより、学びを広げ応用力を高める

「**キャリアデザイン**」＝充実した学びのための基本的な知識、情報を提供するとともに、卒業後のキャリアプランを描くための考え方を理解する。そのために、ゲストやメンバーとの対話、ワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、振り返りによって個々の「気づき」を促すためのプログラムが中心となっている。

「**キャリアプランニング**」＝「働くとは」「企業とは」「職場の多様性」等、それぞれのキーワードについて深く考えることで受講生一人一人が、他者を通じた自己分析、自身の今後の仕事への向き合い方、他者との付き合い方、大事にしたい価値観等、将来を考える上で必要なことを見出せるようデザインされている。

「**現代社会とキャリア**」＝現代社会の諸相や人間、文化に対する理解を深め、地域の現状と将来を見据えながら社会人としての自分の生き方に一定の指針を持つことを目標に、日本社会の近現代の歴史と将来について個人・家族・社会生活・職業といった身近な視点から考える。その上で、いわゆるグローバリゼーションの中で拡大する格差や情報化等がもたらす影響についても学ぶ。

「**学修ゼミⅠ(キャリア)**」＝少人数のゼミ形式で本学での充実した学びのための知識や情報を提供するとともに、卒業後のキャリアプランを描くための考え方を構築する。

「**学修ゼミⅡ(地域課題)**」＝地域の問題に取り組む、特定の地域について産業・経済・文化その他さまざまな観点からテーマを設定し、それぞれにチームを編成した上で、担当教員の助言・指導を受けて研究活動を行う。学外での情報・資料収集のためのフィールドワーク手法を身につけ、地域の課題を発見し、チーム内での話し合いを通じて解決策を探る。この際、受講者個々の取り組みとともに、最終的な研究成果発表・展示などに向けてのチームとしての機動力も要求される。

「**学修ゼミⅢ(卒業研究)**」＝各自で設定した方向性のもと、指導教員の助言・指導を得ながら各人の研究・制作という具体的な作業を進める。個人レベルでの作業の達成が追求されると同時に、全体としての研究発表・作品展示というプレゼンテーションに向けた会場等のセッティングの具体化も要求される。短大生活の集大成としての「個」と「全体」との協力・協調の実現を目指す。

## 分野2「基盤科目」: ビジネスの現場で不可欠な日本語、英語・多言語、情報リテラシー、ビジネス基礎の4つの科目群からなる

「**日本語Ⅰ・Ⅱ**」、「**英語Ⅰ・Ⅱ**」、「**ビジネスソフト基礎・応用**」＝ビジネス実務に不可欠である汎用的な知識とスキルを修得する。

「**FSP 講座**」＝この授業では大学と企業が連携した「産学協同PBL型講座」を通じて、協力企業から出された課題にグループで取り組むことで社会で必要とされる課題解決能力やコミュニケーション能力等の基盤として必要な「主体性」を引き出すことを目的としている。入学後の早期に社会のリアルな課題に触れ、「正解のない課題」へ

の取り組みと振り返りを通じて、理論や知識の不足、できない自分を知ることから、学びへの意欲を喚起するための講義である。

### 分野3「コース科目」：目標とする専門性を高める」

【公務員・一般事務コース】＝ビジネス文書やビジネス実務をはじめ、仕事に必要なとされる知識を身に付けながら、自治体や企業等での事務処理に対応できる力を養うための講座を用意している。

「秘書総論」「秘書実務演習」「ビジネス実務基礎・応用」「総務・労務管理」その他

【観光・ホテル・ブライダルコース】＝国際化の進展に合わせて幅広く学び、他者への思いやりの心（ホスピタリティ）も身に付けて、観光・ホテル・ブライダルの業界で活躍できる力を養うための講座を用意している。

「国内/海外旅行業実務」「観光学概論」「ホテルブライダル概論」「ホテル・ブライダル実務」「ツアープランニング」その他

【ICT・簿記会計コース】＝ICT利活用や簿記会計などの知識を学び、現代社会を読み解く総合的な判断力を身に付け、実社会の変化に柔軟に対応できる力を養うための講座を用意している。

「簿記入門・応用・実践」「コンピュータ会計」「情報処理」「プログラミング基礎・応用演習」「ファイナンシャルプランニング基礎・応用」その他

【スポーツコース】＝さまざまな競技種目を指導者の視点から実践的に体験するとともに、人びとの健康に関する分野を幅広く学び、日常生活の中での適切な運動指導を行うことができる力を養うための講座を用意している。

「運動生理学」「スポーツ心理学」「トレーニング論」「スポーツ経営管理」「スポーツ栄養学」「スポーツ実技」その他

【芸術コース】＝絵画、造形からデザイン、CG、IT技術まで、幅広い芸術分野の基礎を学び、描き、造り、構想し、表現するという芸術マインドを養うための講座を用意している。

「基礎造形論」「芸術基礎・応用演習」「デザイン・映像・メディア基礎」「絵画工芸基礎演習」その他